

哲學研究

第四十卷 第十冊

第四百六十八號

昭和三十五年七月一日發行

インド論理學の基本的性格……………梶山雄一

知ることと認めること(承前)……………森口美都男

必然ということ……………種山恭子

—「チマイオス」解釋の一断面—

新着外國雜誌所載論文一覽

史學研究會

京都大學文學部內

京都哲學會

京都哲學會規約

一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする

一、右の目的のために左の事業を行う

(一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する

(二) 毎年公開講演會を開く

(三) 随時研究會を開く

一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく

委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する

一、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる

一、會員は會費として年一、二二〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する

但し 二回又は三回に分納することもできる

一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる

一、本會は事務所を京都大學文學部内におく

一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

本	武	松	蓮	野	西	長	土	棚	田	武	高	園	島	重	柿	大	臼	上	井	石	池	有
吉	藤	尾	實	田	谷	尾	岐	瀬	中	内	田	原	芳	澤	崎	峯	井	野	島	田	田	賀
良	一	義	重	又	啓	雅	邦	襄	知	義	三	太	俊	祐	二	顯	尚	夫	勉	仁	祐	太
治	雄	海	康	夫	治	人	夫	爾	郎	範	郎	郎	夫	郎	一	顯	尚	夫	勉	仁	祐	太

- (54) Plut. de an. procr. 27, 2p. 1026B (D-K op. cit. 291)
- (55) Diogenes, IX. 45. (D. K. op. cit. ii 84.)
- (56) しかし、この世界が「善」を目指してつくられたという事と、「教」と「形」に従って秩序づけられているという事と、どう關係するかは、又別に研究しなければならない問題と言えらるだろう。

(筆者 奈良女子大學文學部非常勤講師)

前 號 目 次	
辯證法の論理的構造……………	田 口 寛 治
信樂の論理……………	石 田 慶 和
——「修行信證」の哲學的考察——	
支配過程論……………	塩 原 勉
——支配の組織化と經營——	
マイスグラー・エックハルトの 非キリスト教的解釋の可能性……………	南 原 實
彙 報	
新着外國雜誌所載論文一覽	

次 號 論 文 號 告	
「讀書人」身分の「教養」と「倫理」：湯 淺 幸 孫	
——中國文化の統一性の基礎——	
インド論理學の基本的性格(卷)：梶 山 雄 一	
フツサールのモナド論……………	水 野 和 久

必然ということ

八七

お知らせ

第十二回國際科學史會議 (The Xth International Congress of the History of Science) 開催のころ、回準備委員會より左記のよきな連絡がまゐりましたので、お知らせいたします。

會告

The Xth International Congress of the History of Science will be held in the United States of America, 26 August—2 September, 1962. Opening sessions of the Congress will be held at Cornell University, Ithaca, New York, and the concluding sessions will be held at the American Philosophical Society, Philadelphia, Pennsylvania. The President of the Congress is Professor Henry Guerlac of Cornell University. The Secretary of the Congress is Professor C. Doris Hellman.

All inquiries should be addressed to *The Secretary, Xth International Congress of the History of Science*, Cornell University, Ithaca, New York (U. S. A.). Those wishing to receive bulletins concerning the congress are requested to communicate with the Secretary.

本誌第四十卷第十冊(第四百六十八號)の發行日付は、本來昭和三十五年二月二十日とすべきところを諸般の都合により、昭和三十五年七月一日と改めました。爾後は定期に刊行致します。

なお、會費一ケ年分(一、二二〇圓)は、發行日付變更にかかわらず、従來通り十二冊頒布をもつて清算致しますので、今年度の殘金は來年度分に繰り越します。

京都哲學會

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會(振替口座京都四〇三九番 京都哲學會)宛に規定の會費(年一、二二〇圓又は半年六一〇圓)をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社(振替口座東京九二四七二番創文社)宛に願います
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい、(一年分又は半年分)會費は原則として本誌十二冊(又は六冊)の送附濟を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年(又は半年)毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十五年六月三十日印刷
昭和三十五年七月一日發行

編 集 人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編 集 代 表

土 岐 邦 夫

發 行 人

久 保 井 理 津 男

印 刷 人

堀 内 文 治 郎

印 刷 所

堀 内 印 刷 所
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

發 行 所

會 社 式

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 丸 ノ 内 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御註文はすべて代金送料共(一部、定價一二〇圓、送料・八圓)前金にてお送り下さい

昭和
三十五
年六月
三十日
印刷
（每月
一回）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XL

July, 1960

No. 10

Fundamental Characteristics of Indian Logic (I)

..... Yuichi Kajiyama

To Know and to Acknowledge (II).....Mitsuo Moriguchi

"Necessity" in Plato's TimaeusKyoko Kusayama

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定
價
一
二
〇
圓

IMB 6427